

	発表学会等	開催日時	演題	要旨	演者（※：筆頭演者）
1	日本植物園協会第53回大会(研究発表会)	2018年6月19日～21日	沖縄諸島の絶滅危惧植物に関する現況調査報告Ⅲ (伊平屋島)	伊平屋島における絶滅危惧種の現況、および人為的な影響により減少が著しいナゴランにおける今後の保全計画について報告した。	※ 阿部篤志 ・仲宗根忠樹・横田昌嗣
2			(一財)沖縄美ら島財団・総合研究センターで開始した種子等の超低温保存事業について	2017年以降に財団で開始した種子等の超低温保存事業について報告した。	※ 赤井賢成
3	日本植物学会第82回大会	2018年9月14日～16日	種の分布北限域における保全ゲノミクス	サガリラン、ヤドリコケモモとナガミカズラの国内外の集団の遺伝的多様性と遺伝構造を比較し、分布の北限に位置する集団における履歴等について推測した結果を報告した。	芝林真友・栗田和紀・横田昌嗣・ 阿部篤志 ・ 赤井賢成 ・國府方吾郎・遊川知久・長澤淳一・志内利明・市河三英・橋本季正・阪口翔太・寺峰孜・井鷲裕司
4			同所的に生育するエチゼンダイモジソウの集団遺伝構造	福井県と石川県のエチゼンダイモンジソウ局所個体群の集団遺伝構造を比較した結果について報告した。	孫田佳奈・ 赤井賢成 ・阪口翔太・瀬戸口彰
5	Cryopreservation Conference 2018	2018年10月25日～26日	(一財)沖縄美ら島財団で開始した種子等の超低温保存事業について	2017年以降に財団で開始した種子等の超低温保存事業について報告した。	※ 赤井賢成
6	East Asian Plant Diversity and Conservation 2018	2018年10月30日～11月4日	Current status of threatened paddy weed species and factors affecting its decline in Okinawa, Japan	沖縄県の水田とその周辺の湿地に生育する希少植物の現状と減少要因について報告した。	※ K. Akai and H. Setoguchi
7	The 2nd International Academic Conference on the Formation Mechanism of Plant Diversity and Conservation of Endangered Plants in East Asia	2018年11月4日	Molecular phylogeny of Saxifraga Sect. Irregulares (Saxifragaceae): evolutionary implications for the diverged morphological and ecological traits	ユキノシタ科ユキノシタ属ユキノシタ節の6種について、核及び葉緑体DNAの塩基配列を基に系統解析を行った結果を報告した。	K. Magota, M. Yamamoto, S. Sakaguchi, K. Akai , H. Setoguchi
8	日本DNA多型学会第27回学術集会	2018年12月5日～7日	分布フロントにおける希少植物を対象としたゲノムワイドな遺伝解析	台湾と日本に生育するヤドリコケモモとナガミカズラの各集団の遺伝的多様性と遺伝構造を比較し、集団の遺伝的特徴や履歴を推測した結果を報告した。	芝林真友・栗田和紀・横田昌嗣・ 阿部篤志 ・ 赤井賢成 ・國府方吾郎・遊川知久・長澤淳一・志内利明・市河三英・橋本季正・阪口翔太・寺峰孜・井鷲裕司
9	日本植物分類学会第18回大会	2019年3月7日～9日	ハビタットの違いは遺伝構造に影響するか; 滝に生きるエチゼンエチゼンダイモンジソウ・ダイモンジソウと姉妹種の比較	エチゼンダイモンジソウとダイモンジソウの葉緑体DNAハプロタイプ多型とゲノムワイドSNPsを用いて集団遺伝解析を行い、両種のハビタットの違いが遺伝構造に及ぼす影響について報告し	孫田佳奈・阪口翔太・廣田峻・綱本良啓・陶山佳久・ 赤井賢成 ・瀬戸口浩彰
10	日本生態学会第66回大会	2019年3月15日～19日	同所的に生育するエチゼンダイモンジソウとダイモンジソウの遺伝構造比較	エチゼンダイモンジソウとダイモンジソウの葉緑体DNAハプロタイプ多型とゲノムワイドSNPsを用いて集団遺伝解析を行い、両種の空間的集団遺伝構造を比較して明らかになった結果を報告し	孫田佳奈・阪口翔太・廣田峻・綱本良啓・陶山佳久・ 赤井賢成 ・瀬戸口浩彰
11	第130回 日本森林学会大会	2019年3月20日～23日	海洋博公園における樹木の管理方法について -各診断器の診断結果に着目して-	γ線とその他4種類の診断器による診断結果と伐採断面とを比較して、各機器の特性並びに、より正確に診断する上での業務上の留意点などについて報告した。	※ 辻本悟志